

(参考様式4)

事業所名 グループホームシニアライク佐賀3号館

作成日： 令和 7年 3月 28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	
1	1 (2.3.4 .10.1 2)	地域との交流が毎年徐々に増えており、地域の方からもサロンや地域行事の日にお声掛け頂く機会が増しているも、思ったように参加出来ない状況が多い。(理由として、直近のお声掛けや勤務が決まっており、直近のお誘いに対応出来る人員配置環境にない)	地域へ交流が昨年より更に増え、グループホーム事業所や認知症利用者の理解につなげる	地域と事業所との情報交換や情報共有を継続していく。	12ヶ月
2	1 (7)	昨年同様日常生活支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会が不足しており、各研修開催に目を通すようにしているも、事業所に合う開催日や時間を設けることができていない。	学ぶ機会を設ける(継続)	管理者および役職者がまず、社外研修の機会、開催情報を関係各所へ連絡し情報を得、受講機会を得る。	12ヶ月
3	1 (10.1 2)	現状よりステップアップするため、介護技術や知識向上を得るための社内外の研修だけでなく、地域交流の機会を職員の意見を反映しながら、担当職員を設けるなど、事業所全体が視野を広げる機会を検討する。	今までにない取り組みを行う。	地域との交流を広げる為の、担当職員を設ける、サービステイト提供内容の視点を広げるようなアプローチを行う。(例えば、地域行事やサロンの担当の方と担当職員とで話し合いを行ってお互いの理解を深める。実施したことがないサービスの検討)	6-12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。